

第三者評価結果

A-1 保育内容

A-1- (1) 保育課程の編成		第三者評価結果
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・年間指導計画は全体の計画から作成されており、四半期ごとに進捗や達成状況を確認している。・保育時間については、就労時間及び家庭状況に配慮し決定する流れとしている。・本年度より園長が中心となり、子どもの主体性について理解と周知にむけ職員会議、幼児会議、乳児会議で話し合いや振り返りを行い、0歳から発達について理解が深められるように努めている。		
A-1- (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・保育室の環境設定について各クラスで話し合い、目標とする環境を図にして掲示して分かりやすさに努め、さらに理想の設定にむけて試案中である。・子ども主体であっても、片づけや清潔保持、整理整頓について身につくような見本を見せることも必要であるため、出かける前は玩具はすべて片づける、イスはテーブルにきちんとしまうなどの指導に取り組んでいる。・玩具消毒は土曜日に実施し、室内清掃、布製品の選択などについても土曜ノートに記入し、できなかった部分について週明けに確認し送りできるようしている。		
【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・禁止語を使用しないための工夫として、子どもに「どうしたい？どうしたらいいと思う？」と問いかけるようにしている。・見守ることに力を入れており、無駄な言葉がけをしない、認めるような言葉がけに配慮しており、職員会議でも具体的な言葉がけについて話し合い、共通の意識をもって取り組めるようにしている。・それらは本年4月からの取り組みであり、職員に浸透してきていることがうかがえる。		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none">・生活の中で、身の回りのことに興味を持ち楽しく習慣化できるように、自発的な行動を見守るようにしている。・具体的には、トイレ、食事時間、などは一斉に始めるのではなく、流れを自分で考えながら行動できるような声掛けに努めている。・一人ひとりの個性に合わせて行動できるようにすることで、クラスによっては一斉活動で見られた問題行動が落ち着いてきていることを確認している。・トイレトレーニングは一人ひとりの発達に応じて、保護者に声をかけ同意のうえで開始している。		

【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭遊びのほか公園など自然を身近に感じられる環境であり、散歩マニュアルに沿って安全に配慮して散歩にでかけている。 ・散歩表に行先、人数、引率数、出発、帰園時間、携帯保持者名を記載し確認できるようにしている。 ・地域交流として移動動物園、夕涼み会の開催を行っている。年長児は区の作品展に参加し、子どもたちが協力して作品づくりをしたり、地域の人に見てもらえるような機会を設けている。 ・体調などにより外出できない場合は、園に残り他のクラスで遊ぶなど個別の状況に配慮している。 		
		第三者評価結果
【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達に合わせた活動内容にしたり、設定遊びを行っている。興味があるものを自分で取り出せるような場所に設置したり、探索活動が安全にできるように保育室内の設定に工夫している。 ・いろいろな素材や絵本などに触れられるように、発達にあわせて定期的に玩具の入れ替えを行っている。 ・家庭との連絡は、連絡ノートや登園時、降園時に口頭でもやり取りし適切な対応を心がけている。 		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児クラスになると、他のクラスとの関わりを持てるように配慮しており、園庭や散歩で一緒に遊ぶ時間を持つようにしている。 ・子ども同士の自我の育ちを受け止め、状況に応じて見守ったり仲立ちしたりしながら、仲良く遊べるような環境づくりに努めている。 ・個々に合わせた援助の仕方などについては職員間で共有し、同じ対応ができるように努めている。 		
【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児では、運動会のおどりの振り付けなど子どもと一緒に考えながら作り上げたり、発表会では日々の活動が発表につながられるように取り組み、子どもの成長を保護者に見てもらえる機会としている。 ・きまりについては、どうしていけないのか言葉で説明し考えられるように促している。また、年齢に応じてルールのある遊びを活動に取り入れ、遊びながら学べるように援助している。 ・近隣小学校へ就学する子どもは少ないため近隣小学校との交流ができていなことを課題としている。 		
【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内はバリアフリー及びユニバーサルトイレの設備があり障がいに応じた配慮がされている。 ・支援の必要な園児に対しては、療育センター及び市・区役所関連職員と連携している。巡回相談も年数回あり、必要に応じて申し込み、利用することが可能である。診断後は個別指導計画を立て保護者と連携し進める体制としている。 		

【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスにおいて登降園チェック表にて、朝の体温、降園時間と送迎者、連絡事項を記入している。 ・連絡事項では、朝の忘れ物や体調について、送迎者の変更などを記入している。 ・6時半までは乳児と幼児は別々に過ごし、年齢に応じた子どもの遊びを保障している。希望により補食と夕食の提供を行っている。 ・延長保育時間では絵本コーナーにマットを敷き、クッションやぬいぐるみを置き、家庭的な雰囲気作りに取り組んでいる。また、多目的室も使用することができる環境になっている。 		
【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学までに必要な事項について、自分で考えて行動できるように、一日の見通しを立てられるようになど、子どもに伝えるとともに、クラスだよりなどで保護者にも伝えている。 ・トイレに行く時間などは、指示をしなくても自分で行きたいときに行けるようにしている。保育室から自由に出ることを可能としている。 ・数字や時計に興味をもてるように、文字にして書く機会（楽しかったこと、思ったことなど）をつくり、書くことの楽しさを伝えている。 ・年2回宮前区での幼保連携研修会に年長の担任が出席し、子どもの姿について学んでいる。 		

A-1-(3) 健康管理		第三者評価結果
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている	a
<コメント> ・健康管理に関しては、申し送りやミーティングで情報共有し、職員全体が状況を把握できるように努めている。 ・保健衛生ハンドブック、保健衛生マニュアル、感染症対応マニュアル、健康管理マニュアル、嘔吐下痢の処理方法などを整備しており、周知に努めている。 ・グループ園3園合同の救命救急の研修に全員が参加することができている。保護者には新入園児説明会でSIDSについて伝え、入園後クラス懇談会でも依頼している。		
【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している	b
<コメント> ・定期的に内科健診、歯科健診を行い、結果を健康管理カードに記載し職員や保護者に周知している。特記事項がある場合は、直接保護者や職員へ伝達し対応している。 ・保健に関する計画は作成しているが、健康診断の結果などを反映するまでには至っていない。日々の感染症や風邪などに対して消毒や手洗いの強化などを実施しているが、計画通りには実行できていないことを課題としている。		
【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a
<コメント> ・アレルギー児においては、個別対応を行っており、主治医の意見書にもつき保護者からの除去食申請書を提出してもらった流れとしている。アレルギー除去確認表では毎日の献立において除去対象となる献立、除去食材、変更後献立が記入され園長・担任・栄養士のサインがある。 ・定期的な診察を受け連絡してもらうようにしており解除の場合は、除去解除申請書を提出してもらい川崎市保育園在園児等健康管理委員会へ提出する流れとしている。 ・職員が定期的に研修を受けられる場があり、アレルギーに対しての理解や情報を更新できるようにしている。		
A-1-(4) 食事		
【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している	a
<コメント> ・年間食育計画に基づき、行事食・会食・食事マナー指導・野菜栽培・クッキングなど年齢ごとのねらいに沿った活動を実施している。 ・季節の食材を取り入れた献立を作成し、幼児クラスは誕生日プレート、4歳5歳児クラスはビュッフェスタイルでの食事提供などを取り入れている。 ・乳児より野菜などの食材にふれたり皮むきをしたり、幼児クラスでは夏みかんジャムづくり、味噌づくりなどをクッキングに位置づけ、4歳、5歳児は焼き魚を箸を使って食べるなど様々な体験ができるように取り組んでいる。		
	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している	a
<コメント> ・4月保護者説明会では試食会を実施、9月祖父母交流献立など、保護者等が試食できる機会を設けている。 ・食事の量は、食べきれない場合には食事前に量を減らすこと（自己申告）を可能としており完食できるように配慮している。苦手な食材などは無理強いすることはなく、一口だけでも食べてみるように促している。 ・栄養士が巡回し各クラスの食事状況を確認しており、進み具合やマナーについても声をかけて援助している。 ・マニュアルに基づいた衛生管理を行い、適切に記録を残している。		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

第三者評価結果

【A17】A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている

b

<コメント>

- ・2歳児までは連絡帳を使用しており、0歳児保育室には連絡帳の記入の仕方をわかりやすく掲示し保護者に伝えている。
- ・3歳以上は口頭にて保護者と情報を共有しているほか必要に応じて連絡ノート（各自準備）も使用している。
- ・児童票、健康記録表は保護者が提出し、園では発達の記録（2歳まで毎月、3歳からは4期に分けて）を記入しており、園長が最終確認を行っている。
- ・保育内容や園での取り組みについて保護者に伝える機会を設けているが、さらに理解を得られるような取り組みの必要性についてを課題としている。

A-2-(2) 保護者等の支援

【A18】A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている

b

<コメント>

- ・懇談会は年2回、保育参観は年間を通して受け入れておりいつでも可能としている。
- ・懇談会では給食も申し込みをして一緒に食べることができるようにしている。
- ・個人面談では、面談内容を記録、児童票にファイルしている。友達との関わりなど園での様子を伝え、家庭での様子も記録し課題を把握している。
- ・保護者からの様々な意見や要望、相談などに応じる体制としているが、さらに適切な対応等にもけて取り組むことを課題としている。

【A19】A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている

a

<コメント>

- ・登園時には視診をして子どもの様子を確認するとともに保護者の様子等についても把握できるように努めている。着替えの際には全身を確認しており、変化があればすぐに主任、園長に報告し共有し状況に応じて、市や区へ連絡し連携を図る体制としている。
- ・虐待が疑われる場合の対応について、人権についての研修で職員が学ぶ機会を設けている。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

【A20】A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている

a

<コメント>

- ・職務分担表に各階級別、内容確認を行っている。年2回人事考課を行い自己評価をもとに個人面談を実施し課題確認をする仕組みとしている。
- ・年度末には、各クラス総括・給食総括・保健総括を作成しており、評価や反省を次年度に活かせるように取り組んでいる。